

## メンター制度試行結果報告

### 1 試行期間

平成 27 年 1 月 ~ 3 月

### 2 対象団体

2 団体（負担金 二子山山系自然保護協議会、  
補助金 （特非）コス援護会）

### 3 メンター派遣機関

一般社団法人 ソーシャルコーディネートかながわ

### 4 試行結果

#### (1)（特非）コス援護会

2 回面談し、指導を受けた。

- ・ 理事長の負担が大きいため、経理事務の一部を、団体の支援者にサポートしてもらう方法について助言。

メンターの助言をきっかけとして経理事務を理事長から切り離し、専任の担当者を配置。平成 27 年度も一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわからメンターを派遣し、試行を継続する。

#### (2)二子山山系自然保護協議会

1 回面談し、指導を受けた。

会員獲得（とくに若い世代）の具体的な方法や活動計画についてアドバイスをする。

二子山山系自然保護協議会の幹部に勤労者が多いため、一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわのメンターと打合せの時間が合わないというミスマッチが生じ、2 回目の打合せができていない。メンターの派遣団体を（特非）アクションポート横浜に変更して試行を継続したい。

#### (3)成果と課題

- ・ メンター受入れ側の成果

コス援護会はメンターによる指導の結果、新年度から会計事務を理事長から別の者に担当させることになり、理事会を経て実施に至った。 団体はメンターを外部からの圧力（外圧）として活用し、長

年の懸案事項であり自発的に解決できない運営体制の改革というきっかけにできたという効果があった。

- ・メンター派遣側の成果

中間支援組織がもつ専門性やノウハウ、他のサポート資源とのネットワークを活かすことができ、一過性である相談事業の積み重ねが活きる。また、費用面でも一定の予測ができることから、中間支援組織における安定的な人材の確保につながる。

- ・課題

受入れ団体と派遣する中間支援組織のミスマッチの問題が確認され、派遣する中間支援組織の複数の確保が必要であること、派遣前の団体のニーズとのマッチングに十分な時間を掛ける必要性が判明した。事前のお見合いの時間を十分に取り、相互の理解が必要である。

派遣期間は成果が出るまで最低6ヶ月が必要であるが、団体の負担もあるため、毎月にこだわらず柔軟な運用が必要であることが判明した。

## メンター制度の試行に対する相互評価（メンター派遣機関用）

（一社）ソーシャルコーディネートかながわ

### 1 メンター受け入れ団体と個別指導の実績（日時）

#### コス援護会

- 1月実績 1月15日(木) 9時～11時（県サポ会議室にて面談）  
2月実績 2月9日(木) 9時～11時45分（県サポ会議室）  
3月実績 3月は理事会があるため面会せず。

#### 二子山山系自然保護協議会

- 1月実績 1月16日(金) 19時～21時（逗子文化プラザにて面談）  
2月実績 2月20日(金) 21時他(メール：往信2 受信2)  
3月実績 3月20日(金) 21時他(メール：往信2 受信2)

### 2 指導内容

#### コス援護会

- 1/15・ ・ 団体の理事長より団体の活動と運営の状況について聞き取り。  
事業活動を下支えする人材が限られており、庶務や経理を一手に引き受けている理事長の負担が大きいことが見えてくる。とくに経理業務を改善する可能性について話し合う。
- 2/9・ ・ 帳簿や通帳などから日々の経理事務の現状を確認する。帳簿への記帳、領収書整理など経理事務の一部を、団体の支援者にサポートしてもらう可能性について話し合う。

#### 二子山山系自然保護協議会

- 1/16・ ・ 団体の代表およびメンバーより活動と運営の状況について聞き取り。  
団体の依頼に応じ、会員獲得（とくに若い世代）の具体的な方法や活動計画についてアドバイスをする。
- 2/20・ ・ 団体より3月のスケジュールが届いたため、参加の是非と今後の対応について連絡をとるが、後日連絡をするということで、具体的な依頼事項は確認できなかった。

**3 指導内容はどこまで実現できましたか。**

コス援護会

団体の活動基盤強化に向けて、まずは経理事務の改善（経理処理の適正化）を図ることを目標に置きましたが、現時点では具体的な取り組みまで進んでいません。

二子山山系自然保護協議会

団体との間で今後の具体的な取り組み事項に関し協議が進んでいません。

**4 指導内容を実現するためにはどれぐらいの期間が必要ですか。**

コス援護会

団体の経理事務処理体制が整い、適正な経理処理が行われるようフォローするためには、半年～1年の間は定期的にモニタリングするのが適当と考えます。

二子山山系自然保護協議会

団体との間で今後の具体的な取り組み事項に関し協議が進んでいないため未定

**5 謝金月額3万円（交通費別途負担）は十分ですか。**

現在の派遣状況においてはメンター1名あたりの派遣単価として妥当

**6 今までのアドバイザーによる助言とメンター制度は中間支援組織としての観点からどのような違いがありますか。**

「アドバイザー相談事業」と「メンター制度」では、関わる深さに違いがあります。団体が課題と捉えて、外部の人材に相談する場合、目の前に見えているわかりやすい課題を持ち込む場合が多いのですが、その対応は以下のような違いがあると考えられます。

・アドバイザー相談事業

見えている課題の解決には届きやすいのですが、そもそもの原因を取り除くことや、長期にわたってのアドバイスを強制することは難しい

・メンター制度

複数回の面談が設定されているため、団体の主訴を時間を掛けて引き出すことができることにより、根本的な対応策を模索し、多角的にアドバイスすることができる

ボランティア活動団体の課題は、人材面・財政面・情報面と多彩であり、活動のテーマもフィールドも多種多様です。「似ている」と「同じ」は異なることを考えると、アドバイザーのマニュアルは作成できるかもしれませんが、メンターのマニュアルを作成することは難しく、更に、学習値と経験値のバランスの取れた人材がメンターに求められることから、報酬の違いも必要な要素になると考えられます。

**7 今回の試行の結果、メンター制度で改善すべき点はありますか。**

メンター派遣先の団体を選定するにあたっては、一定のルールの中で、活動基盤の強化に取り組む意欲をもち、メンターの受入れを積極的に希望する団体を優先することが望ましく、受け入れに消極的な団体に派遣しても効果は出難いと考えます。

**8 来年度も継続を希望しますか。**

メンター制度については次年度も継続を希望します。派遣先団体の選定に関しては、基本的なルールの検討を望みます。

**9 メンター制度はメンター派遣機関にとってどのようなメリットがありますか。**

メンターとなり、団体の活動支援をすることは、中間支援組織がもつ専門性やノウハウ、他のサポート資源とのネットワークを活かすことができ、一過性である相談事業の積み重ねが活きる事業です。また、費用面でも一定の予測ができることから、中間支援組織における安定的な人材の確保につながると思われます。

以上

## メンター制度の試行に対する相互評価（コス援護会）

### 1 指導内容

団体へのヒアリングと、団体の改革は基金終了後を睨んで、会計の分野から分業化、組織化に着手しましょう。

### 2 指導内容は適切でしたか。

適切なのだと思います。実行するとなると自分たちでやることになるのが難しい（大変）です。

### 3 指導内容はどこまで実現できましたか。

新年度から会計を他者に分化することになり、理事会を経て実施に至りました。今まで塩漬けになっていた案件に手をつけはじめました。

（理事の構成・人数・役割、会計、定款）

### 4 指導内容を実現するためにはどれぐらいの期間が必要ですか。

初歩的なことであっても、着手してから4ヶ月程度かかりそうです。

### 5 今回の試行の結果、メンター制度で改善すべき点がありますか。

メンターは今まで受けたことがないので、何が分からないのかもよく分からない感じです。ただ、通年となると事業形式になっていない当会のような団体には、メンター費用の金額が大きいので、支払いが重くのしかかります。

### 6 メンター制度はメンター受け入れ機関にとってどのようなメリットがありますか。

団体の組織改革は待ったなし。お尻に火がついてきます。されど日々の活動に追われて自主改革は難しく、塩漬けになってしまいます。他者の関与により少しずつですが改革に向けて動きそうです。ただ、会内の問題でメンター制度を十分には活かしていません。

### 7 メンターに対する満足度はどれくらいですか（大変満足 満足 普通 不満 大変不満）。

満足

### 8 来年度も継続を希望しますか。

希望します。（支払いの都合上年に2～3回）